

市民環境部長の仕事宣言！

市民環境部長 橋本 有功

①リープロの名称	●リーディングプロジェクト1 【環境を守り、未来へつなぐまちをつくるプロジェクト】														
②目標値	<table border="1" data-bbox="470 409 1477 622"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>(H26年度)</th> <th>目標 (R2年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境美化活動参加者数</td> <td>530人</td> <td>1,800人</td> </tr> <tr> <td>市民1人1日当たりの資源物以外のごみ排出量</td> <td>908g/人・日</td> <td>883g/人・日</td> </tr> <tr> <td>リサイクル率</td> <td>28.2%</td> <td>28.3%</td> </tr> </tbody> </table>			項目	(H26年度)	目標 (R2年度)	環境美化活動参加者数	530人	1,800人	市民1人1日当たりの資源物以外のごみ排出量	908g/人・日	883g/人・日	リサイクル率	28.2%	28.3%
項目	(H26年度)	目標 (R2年度)													
環境美化活動参加者数	530人	1,800人													
市民1人1日当たりの資源物以外のごみ排出量	908g/人・日	883g/人・日													
リサイクル率	28.2%	28.3%													
③今年度の取組方針	<p>①環境保全活動を進めます (環境対策課)</p> <p>②ごみ減量化とリサイクルを進めます (環境対策課)</p> <p>鳥栖市を特徴づける豊かな水と緑あふれる恵まれた自然環境を守り、育て、子どもたちに引き継ぐために、市民の皆さんへの環境意識の啓発を図り、快適な住みよい環境づくりを推進します。また、深刻化する地球温暖化に対処するため、地域や学校等での環境教育・環境講座の開催や環境情報の提供により、地球温暖化対策に対する意識を一層高めていくとともに、市民や事業者、行政が一体となって環境配慮行動・活動の実践に努めていきます。</p> <p>また、鳥栖市では人口及び事業所数が増加しており、今後も、これまでの取組を継続・強化することが重要であり、市民一人ひとりがごみ減量の意識を持って生活し、循環型社会の形成のため、市民、事業者、行政がそれぞれ連携・協力を図りながら、地球環境に配慮したまちづくりを進めていきます。</p>														
④今年度の取組結果	<p>環境美化活動については、県下一斉清掃・美化活動、轟木川清掃やまちづくり推進協議会によるクリーンアップ活動など多くの市民の参加を得ながら市内の環境美化を推進し、令和元年度は1,800人を超える参加がありました。</p> <p>溶融資源化センターへの搬入車両の検査による適正搬入の指導や事業者による不法投棄の未然防止のためのパトロールを行ってきました。古紙回収ボックスの取組は今後、課題を整理し対応を検討していきたいと考えています。</p>														
⑤数値目標の結果	<p>◇環境美化活動参加者数：令和元年度末=1,817人</p> <p>◇市民1人1日当たりごみ排出量：令和元年度末見込=883g/人・日</p> <p>◇リサイクル率：令和元年度末見込=25.5%</p>														
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	<p>環境美化活動では、まちづくり推進協議会との連携を更に充実し、多くの市民の方々が参加出来るよう周知・広報も充実することで一層の推進を図ります。</p> <p>ごみ減量化・リサイクルの意識の向上については、地域、学校、事業所への取組を更に充実させ、更なる広がりが進むよう努めていきます。新たな取組の検討も行います。</p>														

◇副市長の指示

- ・環境保全活動の推進及びごみ減量化とリサイクルの推進については、その意識醸成の広がりが一層進むように、地域・学校・事業所と連携して取り組んでいくこと。古紙回収ボックスの取組は、課題の整理と実施に向けて鋭意取り組んでいくこと。

市民環境部長の仕事宣言！

市民環境部長 橋本 有功

①リープロの名称	●リーディングプロジェクト7 【自分らしく暮らせ、みんなで進めるまちづくりプロジェクト】												
②目標値	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">項 目</th> <th style="width: 20%;">(H26 年度)</th> <th style="width: 30%;">目標 (R2 年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>語学ボランティア登録者数</td> <td>19 人</td> <td>25 人</td> </tr> <tr> <td>とす市民活動センター利用者数</td> <td>14,484 人</td> <td>17,500 人</td> </tr> <tr> <td>市民活動ガイドブック登録団体数</td> <td>97 団体</td> <td>125 団体</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	(H26 年度)	目標 (R2 年度)	語学ボランティア登録者数	19 人	25 人	とす市民活動センター利用者数	14,484 人	17,500 人	市民活動ガイドブック登録団体数	97 団体	125 団体
項 目	(H26 年度)	目標 (R2 年度)											
語学ボランティア登録者数	19 人	25 人											
とす市民活動センター利用者数	14,484 人	17,500 人											
市民活動ガイドブック登録団体数	97 団体	125 団体											
③今年度の取組 目標	<p>①国際性を育む地域づくりを進めます (市民協働推進課)</p> <p>②市民協働のまちづくりを進めます (市民協働推進課)</p> <p>鳥栖市に住む外国人の数は、年々増加しており、今後、一層の外国人との交流や国際化に対する学習を通して、国際化への対応を更に深める必要があります。また、日本人、外国人の区別なく、誰もが同じ地域の生活者として、お互いの文化的な背景や習慣の違いを理解しながら、尊重し合い、暮らしやすいまちづくりを進めていくことが必要です。このため、平成 31 年 3 月に策定した第 2 次鳥栖市国際交流（多文化共生）基本方針<後期方針>の取組を踏まえながら、海外の国の人との様々な交流を通じ、歴史や文化への理解を深めることで、自分たちの住む地域の価値や魅力の再認識と郷土を愛する心が育まれるよう、多くの市民が参加できる国際交流・協力活動を促進・支援します。</p> <p>また、今後のまちづくりは、市民、市民活動団体、企業、行政が情報と地域課題を共有し、それぞれの役割や責任を明らかにし、知恵を出し合いながら、課題の解決を図っていく市民参加型、市民協働型のまちづくりを進めることが重要です。このため、市民活動の中心を担う中間支援組織等の活動を支援するとともに、市民協働、市民活動の意識の一層の向上を図るために、新たな取組を展開します。</p>												
④今年度の取組 結果	<p>日本語教育事業では、日本語教室「とすにほんごひろば～とりんす～」が順調に稼働し、定着しつつあります。また、「こくさいカフェ」では定着が進み、外国人の方と市民の皆様の交流が深まっています。まちづくり活動の担い手育成に向けた取組としてアバンセの協力を得て、「課題解決支援講座」による新たなイベントとして「とすまちもちまつり」を開催しました。また、とす市民活動センターでは、様々な講座やセミナーを開催し、市民活動の充実強化に努めました。</p>												
⑤数値目標の結果	<p>◇語学ボランティア登録者数：令和元年度末見込＝32 人</p> <p>◇とす市民活動センター利用者数：令和 2 年 1 月現在＝14,934 人</p> <p>◇市民活動ガイドブック登録団体数：令和元年度末見込＝111 団体</p>												
⑥成果と課題 (次年度に向け)	<p>日本語教育事業は単独事業として一層の広がりが見られますので、今後も一層の外国人及び市民、関係機関との連携を図って進めていきます。市民活動については、市民活動センターでの取組、まちづくり推進センターの事業など、それぞれの特性を活かして市民協働の更なる推進を図っていきます。</p>												

◇副市長の指示

- ・多文化共生のまちづくりを進めるうえで、日本語教育事業や「こくさいカフェ」の開催は重要な位置づけとなっており、今後もその推進に努めていくこと。
- ・まちづくり活動の担い手育成については、今後も新たな取組を検討・実施し、市民協働の更なる推進を図っていくこと。